

① 研究業績

1. 著書

- ・「町人の学問からみる公共哲学—石田梅岩の『商人道』を中心に」、于臣、片岡龍・金泰昌編『公共する人間 2 石田梅岩 公共商道の志を实践した町人教育者』東京大学出版会、2011年10月

2. 論文

- ・「梁啓超の国家観に関する一考察—『国権』、『国民』論を中心に」于臣、査読無、横浜国立大学教育人間科学部紀要、人文科学 No.12、1-11 頁、2010年2月
- ・「近代日中実業界からみる民間外交の一側面—南洋勸業会と近藤渡清実業団を中心に—」于臣、査読有、北東アジア研究、島根県立大学北東アジア地域研究センター、23号、151-168 頁、2012年3月

3. 科研費実績

- ・「若手研究 (B)」21720030、平成 21 年度～平成 23 年度、「日中の商人における『義・利』『公・私』観念」(個人研究)、研究代表者・于臣、直接経費総額 370 万円

4. 書評

- ・「金泰昌編著『公共哲学を語りあう』について」于臣、公共的良識人、京都フォーラム事務局、第 227 号、2010年10月
- ・「周見著『張謇と渋沢栄一—近代中日企業家の比較研究』について」于臣、渋沢研究、渋沢史料館、23号、2011年1月

5. 解説記事

- ・「人物研究からみる公共哲学の可能性」于臣、公共的良識人、京都フォーラム事務局、第 222 号、2010年5月

6. 学会発表、他

(1) 口頭発表 (8件)

- ・「近藤渡清実業団と南洋勸業会」于臣、経営史学会、札幌大学、2010年10月
- ・「町人の学問からみる公共哲学—石田梅岩の『商人道』を中心に」于臣、第 97 回公共哲学京都フォーラム、大阪、2010年7月
- ・「近代日中両国における実業家団体の交流についての一考察」于臣、フォーラム：アジア多元文化交渉の諸相、関西大学、2011年7月
- ・「渋沢栄一研究の現状と課題」于臣、パネルディスカッション：飛鳥山から世界へ、飛鳥山博物館講堂、2012年11月
- ・「渋沢栄一と中国—商工業立国思想を中心に」于臣、第 61 回思想史の会、法政大学、2013年12月

- ・ “Zhang Jian and the transfer of Western business methods through Japan into China” 于臣、First World Business History Conference、フランクフルト、2014年3月
- ・ “How Did Eiichi Shibusawa View China?” 于臣、Association For Asian Studies 2014 Annual Conference、フィラデルフィア、2014年3月
- ・ 「渋沢栄一『経済道徳一致説』への再考—武藤山治の実業論との比較を通じて」 于臣、東アジア日本学会、韓国・仁川大学校松島キャンパス、2014年5月

②学内活動

- ・ 男女共同参画推進センター運営委員会委員
- ・ 教育人間科学部国際交流委員会言語サポーター
- ・ JOY 留学生の指導